

2019年度児童養護施設睦の家事業報告書

- 1 所在地 兵庫県丹波市青垣町文室 204 番 2
 2 利用定員 30 人
 3 職員定数 26 人 配置数 28 名
 4 事業開始年月日 平成 25 年 4 月 1 日
 5 事業運営基本計画

(1) 理念の実現を目指すと共に環境を理解把握し、状況に適応した諸計画を策定、実行する。

(2) 施設のユニット化、高機能化を推進する。

(3) 理念

- ① 利用者の意向を尊重し、利用者が尊厳を保ちつつ、健やかに育成されるよう支援する。
- ② 良質、適切、総合的な福祉サービスを提供する。
- ③ 事業を適正に遂行するため経営基盤を強化し、サービスの質の向上と経営の透明性を確保する。
- ④ 地域の住民及び福祉関係者と相互に協力し、地域福祉を推進する。

6 処遇実績

(1) 年間在籍児童数（各月初日在籍児童数）

区分/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
1・2 歳児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
年少児	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	36
小学生	8	8	8	8	8	9	8	8	8	8	8	8	97
中学生	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	84
高校生	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	132
その他	1	1	1										3
計	30	30	30	29	29	30	29	29	29	29	29	29	352

(2) 一時保護・ショートステイ延日数

区分/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
一時保護		4	28	73	70	33	108	57	69	68	112	140	762
ショート	5				8								13

(3) 入所・退所児童数

区分\月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
入所	幼児					1						2	3
	小学生					1						2	3
	中学生											1	1
	高校生												
退所	幼児											1	1
	小学生					1	1						2
	中学生												
	高校生											4	4
	その他			1									1

(4) 日常生活

規則正しい生活への自主的な適応を目指し指導に努めました。

平 日		休 日		備 考
起 床	6:30	起 床	6:30～ 7:00	おおむね適応している
朝 食	6:10～ 7:30	朝 食	6:50～ 8:00	〃
登 校	6:30～ 8:20	学 習	9:00～	〃
お や つ	10:00～10:30	お や つ	10:00～10:30	〃
昼 食	12:00～14:00	昼 食	12:00～13:00	〃
下 校	14:00～19:00			一部の児童は時間外
お や つ	15:00～15:30	お や つ	15:00～15:30	一部の児童は時間外
学 習	15:30～	学 習	15:30～	おおむね適応している
入 浴	16:00～20:30	入 浴	16:00～20:30	一部の児童は時間外
夕 食	17:30～19:10	夕 食	17:30～19:10	一部の児童は時間外
就寝消灯	20:00～23:00	就寝消灯	20:00～23:00	おおむね適応している
自主学习	21:00～24:00	自主学习	21:00～24:00	おおむね適応している

(5) 児童集団行事等実績

- 4月13日 たけのこ収穫 睦の家 児童5名 職員2名
- 5月 1日 園内バーベキュー 睦の家 児童30名 職員10名
- 5月 2日 GW外出 映画鑑賞 児童14名 職員 3名
- 5月26日 BBQ招待 三田野外センター 児童16名 職員3名
- 6月 1日 但馬地区里親交流会 但馬牧場公園 児童5名 職員1名
- 6月23日 音楽隊コンサート招待 田園交響ホール児童6名 職員1名
- 7月20日 山東ライオンズ招待行事 山東自然の家 児童28名 職員12名
- 7月22日 睦の家ふれあいコンサート ボランティア5名 児童18名 職員7名
- 7月28日 北摂丹波地区里親サロン参加
神戸フルーツフラワーパーク 児童2名 職員1名
- 7月30日 ブルーベリー収穫招待 西芦田 児童10名 職員3名
- 8月 2日 海水浴 竹野海水浴場 児童 24名 職員9名
- 8月 4日 野外活動招待行事 南但馬自然学校 児童 8名 職員3名
- 8月11日 神楽夏祭り 児童22名 職員10名
- 8月18日 夢ジョッキー昼食会招待 悠遊の森 児童10名 職員2名
- 8月20日 SST研修会招待 シェラトン都ホテル大阪 児童4名 職員1名
- 8月30日 夏の終わりのBBQ、花火 児童 29名 職員9名
- 9月22日 音楽隊コンサート招待 東リ伊丹ホール児童4名 職員1名
- 10月 6日 共同募金活動 児童4名 職員2名
- 10月14日 文室秋祭り参加 児童10名 職員5名
- 10月28日 黒枝豆収穫招待 丹波篠山市 児童16名 職員6名
- 11月 2日 サッカー招待 ノエビアスタジアム 児童5名 職員1名
- 12月 1日 ぽかぽか冬まつり 睦の家 児童26名 職員11名 地域の方
- 12月21日 サンタクロース訪問(わかさ生活) 児童15名 職員7名
- 12月23日 クリスマスケーキ寄贈式 児童10名 職員5名
- 12月24日 クリスマス会 睦の家 児童29名 職員20名 地域の方
- 1月11日 養連行事みんなの文化祭 明石市民会館 児童18名 職員5名
- 1月12日 音楽祭招待 県立芸術文化センター 児童7名 職員1名
- 2月11日 事始め 文室公民館 児童8名 職員5名

(6) 避難訓練実績

各月1回 年12回

(7) 支援計画の策定と実施

① 自立支援

自立支援計画策定についての見直し（必要な児童については3か月ごとにこども家庭センターと協議）への対応として、全児童についてアセスメントシートを作成しました。5人の高校3年生については、それぞれ希望する進路を実現することができました。（陸上自衛隊1名、大学2名、短大1名、専門学校1名）

② 個別対応

被虐待児や集団に適応し難い児童等、個別対応が必要とされる児童6名について、生活場面・創作活動での1対1の対応や個別面接を行い、個別ニーズを理解把握し、愛着関係の再構築を図りました。

③ 心理療法

10人のこども家庭センターと事前協議を行った児童について心理療法を行いました。被虐待体験等による課題がある児童について、情緒の安定、達成感や自信の獲得、愛着関係の再構築等の支援を行いました。

④ 家庭支援相談

保護者への相談等を行い、親子関係の再構築を図り、家庭復帰に向けた支援をしてきました。年度内に家庭復帰となった児童は2名でしたが、それ以外の児童についてもこども家庭センターと連携し、継続した支援を行っています。

⑤ 里親支援相談

関係機関と連携しながら、里親支援専門相談員を中心に里親支援の取り組みを続けました。年度末には入所児童1名が里親委託となり、季節里親、週末里親等の家庭生活体験活動も計画的に実施することができました。

⑥ 児童集団行事

児童の意見や要望を取り入れ、それぞれの季節の合った行事の計画、実行に努めました。新型コロナウイルスの影響で、2月以降の集団行事は実施することができませんでした。

7 支援結果の概要

(1) 幼児は日常生活に適応し明るく、元気よく、健やかに生活することができました。

里親委託に向けた取り組みも継続的实施することができ、年度末に1名が里親委託となりました。

(2) 小学生の多くは、施設、学校、その他の社会生活に適応し、明るく、元気よく生活することができました。軽度発達障害や情緒面が不安定である児童については、学校、関係機関と連携しながら支援方法についての検討を進めました。

(3) 中学生児童の中で弁論大会で最優秀賞を得たり、生徒会役員に選ばれたりするなど、全般に元気に生活することができました。一方、学習についての取り組み方に課題のある児童がおり、卒業後の進路実現に向けての大きな課題となっています。

(4) 高校生は11名と多人数となりましたが、概ね安定した高校生活を送ることができました。高校卒業の5名については、自衛隊に1名、大学進学2名、短大進学1名、専門学校進学1名と、それぞれの希望する進路について実現することができました。

(5) 特別な支援の必要な児童10人

知的障害6、情緒・軽度発達障害6

- (6) 通院児童 31人、延 255人
 (7) 予防接種 インフルエンザ 27名 日本脳炎 7名 二種混合 2名 麻疹風疹 1名
 (8) 健康診断 春 29名 秋 28名

【運営管理】

1 人事・労務

(1) 職種別職員数

職 種	施設長	指導員保育士等	心 理	事務	栄養士	調理員	非常勤	嘱託医	計
年度始	1	16	1	1	2	2	4	1	28
年度末	1	16	1	1	2	2	4	1	28

※年度末において産休 2名 (保育士 1 栄養士 1)

(2) 職員採用

採用年月日	職 種	福祉施設経歴等	備考
4月 1日	児童指導員	特養 介護職	
4月 1日	児童指導員	新卒	
4月 1日	児童指導員	新卒	

(3) 職員異動・変更

異動年月日	人数	異動状況
4月 1日	1	児童指導員から心理士に変更

(4) 退職

区 分	退職・休業等の月日・期間	職 種	理 由
退 職	3月 31日	調理員	自己都合

2 規程改正・制定・協定締結及び届出

(1) 規則改正

- ・苦情解決規定 (7月 17日)
- ・経理規定 (11月 5日)
- ・公印管理規定 (11月 5日)

(2) 協定締結

36協定 (3月 24日締結 3月 30日届出)

3 会議

(1) 施設が開催した内部の主要会議

- ① 職員会議
- ② 職員ミーティング
- ③ 給食会議
- ④ 児童と職員の会議
- ⑤ 支援検討会議(自立支援計画策定会議を含む)
- ⑥ 実習生と職員との反省会議

(2) 関係機関等開催の外部会議

県養連協議員会議、児童福祉施設関係機関会議、職員幹事会議、行事实行委員会会議、小中PTA会議、高校評議員会、こども家庭センターとの会議、小学校・中学校・教育委員会との会議、県児養連理事会、要保護児童対策地域協議会議、丹波市社会福祉法人協議会、丹波市子ども子育て会議

- 4 職員健康診断 入社時検診 5月 3名
定期健診 4月 16名
(1月 2月 3月) 25名
インフルエンザ予防接種 19名
腸内細菌培養検査 17回 延べ85名

5 監査等

(1) 第三者評価

内部評価

(2) 行政指導監査

チェックリストによる監査

(3) 消防査察

消防査察 2019年度はなし

(4) 自主点検

建物遊具点検 (毎月)

6 研修

(1) 職員外部研修

県児養連職員部会研修、新任職員研修、栄養士研修、給食職員研修、給食施設協研修、職員交流研修、近養協研修会、職員交換研修、児童虐待防止啓発研修、里親研修会、スキルアップ研修

(2) 職員内部研修

事業計画、子育て支援規準研修、自立支援計画実施研修、支援技術研修、栄養・給食研修、危機管理研修、法令・諸規定・協定研修、施設職員交換研修、発達障害研修、施設内虐待防止研修、経営計画策定研修

7 苦情解決

*H31/R1 年度は意見箱への投函はありませんでしたが、口答で苦情や要望があり、下記の通り対応致しました。

■男子ユニット内で金品や物がなくなった

- ・男子児童全員に一人ひとり聞き取りを行うとともに、児童全体に対して規則の再確認をおこなった。
- ・ロッカーを追加購入し、貴重品やゲーム機などの大切な物を保管できるようにした。
- ・その他、自室での管理が不安な児童は職員にあずけることができるようにした。
- ・それでも収束しなかった場合は、防犯カメラを用意してはどうかとの案が、子ども達との話し合いの中で出ており、視野に入れてはいるが、現在はその状態には至っていない。

■読書用の書籍が欲しい

- ・社会福祉協議会より入学祝いに図書カードをいただいているが、対象でなかった児童に対して別途図書カードを与え、それぞれ希望の書籍を購入した。

■ゲームのできる時間を増やして欲しい（女子児童より）

- ・女子ユニットの児童も、極力男子ユニットの児童に近い状態でゲームをすることができるよう、ユニット間のルールの一掃をめざし、更に女子児童のゲーム使用可能時間をのばした。

【施設整備等】

- 1 建物・設備の整備 なし
- 2 器具及び備品、ソフト、車輛の購入

複合機	915,840 円	4 月
軽自動車	1,065,000 円	5 月
軽トラック	234,470 円	10 月

【寄付金・寄付物品受領】

寄付件数 111 件 935,050 円 （10 万円以上寄付金 2 件）

【地域との交流・連携】

- 1 実習生・ボランティアとの交流と連携
 - ・実習生等の受入と指導及び実習関係大学との交流・連携
※実習受け入れ校
豊岡短大 大阪青山大学 元町こども学園 湊川短大 9 名 90 日
 - ・ボランティアとの交流・連携
6 月 29 日 青垣町民生委員 花植え 民生委員 14 名 児童 14 名 職員 8 名
- 2 学校・地域社会を通じての交流と連携
 - ・こども園・小学校、中学校、高校及び各学校の PTA との交流・連携
 - ・地域の学童生徒の保護者家庭との交流・連携
 - ・サークル、地域行事への参加・施設行事への招待
 - ・民生児童委員施設訪問
- 3 関係機関・各種団体との連携
 - ・県児童課等関係部局、こども家庭センター、関係市家児相、健康福祉事務所、教育・保健・医療機関
 - ・市役所、警察署、消防署、職安、労基署、社会保険、その他の官公庁
 - ・民生委員・主任児童委員、県児童養護連絡協議会・近畿児童養護施設協議会
 - ・全国児童養護施設協議会・子育て支援規準推進委員会・第三者委員・社会福祉協議会
 - ・共同募金会・但馬里親会・要保護児童対策協議会（丹波市、篠山市）

4 地域の子育て相談事業・支援事業

- ・一時保護
- ・ショートステイ事業
- ・子育て支援事業別表の通り

令和1年度児童養護施設睦の家 子育てママ支援事業						
事業名	実施日時	場所	参加者数		事業の目的	備考
ふれあい食堂	奇数月回 (土日) 11:40~14:00 計6回	睦の家 ・地域交流室 ・プレイルーム ・園庭 ・会議室	施設内児童	0	食に課題がある家庭を含む一般の親子を対象に、子どもに栄養のとれた食事を提供する。子育て家庭の負担軽減も兼ねる。	・読み聞かせ ・リピーターが6家族、新規は子どものみの参加が1名(友人の家族に同行) ・七夕短冊 ・七夕カレール ・リピーター6家族 新規1家族 ・スーパーボールすくい ・リピーター7家族(内1名父親初参加) ・読み聞かせ ・魚釣りゲーム ・リピーター6家族 新規1家族 ・インフルエンザ等でキャンセルが相次ぎ開催せず
			地域児童	14		
			保護者	6		
			ボランティア	1		
			計	21		
			計	23		
施設内児童	13					
地域児童	9					
保護者	9					
ボランティア	1					
計	23					
計	23					
地域児童						
保護者						
地域児童						
保護者						
地域児童						
保護者						
おしゃべりランチ	年間3回程 (平日) 10:30~14:00	睦の家 ・地域交流室 ・プレイルーム ・会議室	施設内児童	0	施設職員の専門性を活かし、母子等のニーズに沿った、参加することが楽しみとなる場づくりに努める。母親のリフレッシュが主な目的。子育て家庭の負担軽減も兼ねる。	・キューブパズルを作ろう ・チキンライス ・当日体調不良で2組キャンセル ・レッツリズム遊び ・てくてくハロウィン
地域児童	4					
保護者	3					
ボランティア	7					
計	7					
施設内児童	0					
地域児童	7					
保護者	6					
ボランティア	6					
計	13					
子育て支援講座	発達障害講演会 11月22日(金)	睦の家 ・地域交流室	保護者他 (地域、福祉・福祉に携わる関係者)	4	発達障害に精通した講師を招き、保護者や地域、関係者を対象に開催。	講師 兵庫教育大学大学院 嶋崎まゆみ先生